

17:8 さて、アマレクが来て、レフィディムでイスラエルと戦った。

17:9 モーセはヨシュアに言った。「私たちのために幾人かを選び、出て行ってアマレクと戦いなさい。あす私は神の杖を手に持って、丘の頂に立ちます。」

17:10 ヨシュアはモーセが言ったとおりにして、アマレクと戦った。モーセとアロンとフルは丘の頂に登った。

17:11 モーセが手を上げているときは、イスラエルが優勢になり、手を降ろしているときは、アマレクが優勢になった。

17:12 しかし、モーセの手が重くなった。彼らは石を取り、それをモーセの足もとに置いたので、モーセはその上に腰掛けた。アロンとフルは、ひとりはこちら側、ひとりはこちら側から、モーセの手をささえた。それで彼の手は日が沈むまで、しっかりそのままであった。

17:13 ヨシュアは、アマレクとその民を剣の刃で打ち破った。

17:14 主はモーセに仰せられた。「このことを記録として、書き物に書きしるし、ヨシュアに読んで聞かせよ。わたしはアマレクの記憶を天の下から完全に消し去ってしまう。」

17:15 モーセは祭壇を築き、それをアドナイ・ニシと呼び、

17:16 「それは『主の御座の上の手』のことで、主は代々にわたってアマレクと戦われる。」と言った。

主イエスは、「世にあっては患難があります」といわれました。私たちは患難と戦う必要があります。ここにその戦い方が教えられています。祈りと実践

です。これらがかみ合っていることが重要です。祈りができなくなると、その祈りをアロンとフルが助けました。このように何としても祈らなければならぬし、また共同体が必要なのです。

主はご自身の民に敵対するものは主の敵としてくださいます。主に従う民には勝利を与えてくださるのです。またそのような主であることを、私たちは伝えなければなりません。主が共にいてくださった歴史を後の人が忘れないためです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

